



Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数84名

今週のお祝い

出席100%祝: 2年永島正道君 17年西村正男君
24年 野坂美仁君

本人誕生祝: 4日高田泰司君 12日赤木勇夫君
19日松浦啓介君 22日木美俊彦君 24日小谷
維夫会長 25日吉岡朋美君 31日 足立日出男君

会長挨拶

本日は、例会終了後に指名委員会を開催させて頂きます。会員の皆様方にはいろいろとお忙しいところ、お手数をお掛け致しますが、よろしくお願ひ致します。いよいよ師走に入りまして毎日寒風が吹く寒い日が続いております。皆様方も車のスノータイヤをいつ変えるか考えておられると思いますが、先ほど駐車場で車のタイヤを見てますと3~4割の車がスノータイヤをはいております。私もスノータイヤにした途端、安全運転でスピードを控えて運転しております。

先週土曜日、12月1日、お昼過ぎから米子市安倍の「YAJINスタジアム」において当クラブ主催で『桜の記念植樹と記念碑の除幕式』を行いました。当日はあいにくの寒風のもと、更に雨もあり、式典と植樹も大変でしたが、上森リーダーをはじめ参加されたロータリアンのおかげで無事に終える事が出来ました。この件は財団と新世代活動委員会との共同作業で進めた「新地区補助金対象事業」でありまして桜の木20本をガイナレ鳥取U15の子供たちとロータリアンが力を合わせて植樹致しました。クラブから17名のロータリアンに奉仕して頂きました。実際行ってみると非常にロケーションの良いところで、スタジアム自体も客席とフィールドが近く、迫力のあるゲームが見られるのではないかと思います。皆さんも是非行かれてみて下さい。

2日、日曜日には、次期財団委員長会議が津山で開催され、次年度の財団理事が出席されました。

次に皆さんも新聞等でご存知のように、インフルエンザが米子でも発生しております。今日の卓話はちょうど伊藤先生からインフルエンザについてお話があります。皆さんもよく聞いて頂いて予防に努めて下さい。

16日は投票日にもなっています。私もどこに入れようか考えておりますが・・・ 皆さんも年末になり大変お忙しいとは思いますが、体に気をつけて頑張ってくださいと思います。

幹事報告

1. 12/1(土)桜記念植樹(チュウブYAJINスタジアム)
2. 例会後、指名委員会
3. 例会後、青少年交換特別委員会重要な打合わせ
4. RI青少年プログラム 中四国3地区合同オリエンテーションのご案内(小土井青少年交換副委員長)
5. 12/19クリスマス家族会
6. 例会変更のお知らせ
境港RC 12/18(火)忘年家族会 ビジター受付あり
米子中央 12/20(木)夜間例会 " 他

今後の行事予定

- 12/19 クリスマス会 (ホテルサンルート米子)
- 12/26 休会 (定款第6条)
- 1/2 休会 (振替休日)
- 1/30 クラブ協議会 (ホテルサンルート米子)
- 2/13 5RC合同例会 (米子全日空ホテル)



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

< プログラム >

「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会リーダー

北沢 薫 会員



12月は家族月間です。

表紙は京都平安女学院のクリスマスツリーです。

6ページ 家族と共に会員が奉仕活動の記事です。

7ページ 名古屋北ロータリークラブが家族と共に子供たちと森林体験をしました。

8ページ 2650地区で家族でポリオワクチンの投与活動が行われています。

(フィジー、パプアニューギニア、ラバウルなど)

10ページ 10月13日に大阪ネクストロータリーの5周年記念で新世代クラブが集って友好を深めたそうです。

12～17ページ ポリオ撲滅についての5人のインタビュー記事です。

18ページ 2013年5月に広島で開催されるロータリー世界平和広島で講演 されるアレキサンダメヒヤさんの話が載っています。

「インフルエンザについて」

伊藤 慎哉 会員



- (1) **インフルエンザとは...** インフルエンザウイルスは人に感染して、伝染病であるインフルエンザを起こすウイルスである。ただし、一般に「インフルエンザウイルス」と呼ぶ場合は特にA型、B型を指し、その中でもさらに人に感染するものを意味する場合が多い。本来はカモなどの水鳥が自然宿主として、その腸内に感染する弱毒性のウイルスであったものが、突然変異によってヒトの呼吸器への感染性を獲得したと考えられている。

*** インフルエンザと普通の風邪はどう違うのですか？**

一般的に、風邪は様々なウイルスによって起こりますが、普通風邪の多くは、のどの痛み、鼻水、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりありません。

一方、インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。お子様ではまれに急性脳症を、高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

毎年、「インフルエンザは怖い怖い」とやたらと脅威を煽られるけれど、その影に隠れてしまっている他の感染症や事故はどうなのでしょう。

例えば、RSウイルス：乳幼児の感染は、インフルエンザより死亡率が高い。同じ時期、集団感染が相次ぐ感染性胃腸炎は、年間2,000以上の死者を出しています。また肺炎で亡くなる人は年間12万人いますが、その内インフルエンザを伴うケースは多くても100件程度。つまり0.1%にも満たないのです。感染力が非常に高く大流行する為に、大流行を防ぐ必要があります。医療・福祉・介護施設での施設感染には注意が必要です。

インフルエンザは予防する方法としては、以下が挙げられます。

- ① 流行前のワクチン接種 ② 接触感染対策として小まめに手洗いを行う ③ 飛沫感染対策としての咳エチケット ④ 空気感染対策としてのマスクの着用 ⑤ 感染したら外出をしない
以上の事に注意して予防してください。当院に来院されれば、予防ワクチンを友情価格で注射してさしあげます。有難うございました。